

## 指定管理者中間評価シート（決定）

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 施設名    | 船橋市北部清掃工場余熱利用施設 ふなばしメグスパ    |
| 指定管理者  | 株式会社ふなばしEサービス               |
| 所管課    | 環境部 資源循環課                   |
| 評価対象期間 | 平成29年4月1日～令和3年3月31日         |
| 評価者    | 船橋市北部清掃工場余熱利用施設指定管理者中間評価委員会 |

|      |   |
|------|---|
| 総合評価 | 評価に関する意見等   |
| A    | <p>施設の設置目的に沿って、地域の交流の場としての運営に取り組んでおり、自主事業も概ね利用者ニーズに即したものになっている。管理運営も安全かつ適正に行っている。</p> <p>今後は更に広報活動を行い、積極的に地域住民・団体・企業と協力するとともに、安心安全な施設運営に取り組み、新たな顧客の獲得や利用者満足度の向上に努めてもらいたい。</p> |

|       | S  | A   | B  | C  | D  | 合計   |
|-------|----|-----|----|----|----|------|
| 評価項目数 | 0  | 18  | 1  | 0  | 0  | 19   |
| 割合    | 0% | 95% | 5% | 0% | 0% | 100% |

|            |  |
|------------|--|
| 総合評価の基準の目安 |  |
| S          | 細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である。   |
| A          | 細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である。<br>細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である。          |
| B          | 細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない。<br>細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である。 |
| C          | 細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない。  |
| D          | 上記に関わらず、細項目に一つでもDがある場合   |

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 細項目別評価状況 |                                    |
| S        | 事業計画以上の優れた管理運営がなされている              |
| A        | 概ね事業計画どおりに管理運営がなされている              |
| B        | 概ね事業計画どおりに管理運営がなされているが、一部軽易な改善事項あり |
| C        | 事業計画どおりの管理運営がなされておらず、早急な改善を要する     |
| D        | 指定の取消しをせざるを得ないような不適切な管理運営がなされている   |

| 大項目                  |  | 採点をする上での視点項目 | 評価  | 評価理由 |
|----------------------|--|--------------|---|------|
| 1. 管理運営の基本的考え方       |  |              |   |      |
|                      | ①指定管理者制度を用いた余熱利用施設の管理運営の在り方についての基本方針が施設の設置目的に沿っているか。 | A            | 近隣医療機関等との連携・協働や子供達や高齢者向けのさまざまなイベントなど、心と身体の健康の保持増進や、様々な年齢を対象とした管理運営を行っている。もっと地域住民をターゲットとした運営に取り組んでもらいたい。           |      |
|                      | ②余熱利用施設の管理運営を通じ、市民の交流や健康の保持増進に寄与するものとなっているか。         |              |   |      |
| 2. 施設の管理体制全般に関する考え方  |  |              |   |      |
|                      | ①人員配置は適切か。   | A            | 利用者動向を参考に、適切に人員配置がされている。なお、必要最低限の人員配置であれば若干の余裕をもたせることも検討してもらいたい。  |      |
|                      | ②利用者の拡大に対する計画やサービス向上に関する計画は、創意工夫が見られるか。              | A            | 集客につなげるための利用者アンケートや体験レッスンなど努力の跡が見られる。なお、市内の小中学校と連携して校外学習の場を提供したり、近隣の老人福祉センター等に向けた歩行浴りハビリプログラム等を提供することも検討してもらいたい。  |      |
|                      | ③レッスンプログラム(自主事業)は利用者ニーズを捉えた内容となっているか。また、頻度は適切か。      | A            | 色々なイベント、機能トレーニングなど多世代に対応した自主事業を行っている。なお、入浴が主目的の利用者が多いため、それに合わせた自主事業を検討してもらいたい。また、地域のマンパワーの活用も検討してもらいたい。           |      |
|                      | ④イベント(自主事業)の内容や頻度は適切か。                               | A            | 文化的市民交流イベント(教室)が企画・実施されている。なお、温泉ラン、温泉ウォーク、温泉サイクリング、マイクロツーリズムを考慮した新規プログラム(長時間滞在型ではないプログラム)や、地域のマンパワーの活用を検討してもらいたい。 |      |
|                      | ⑤物販の販売や食堂運営(自主事業)は、利用者ニーズを捉えているか。                    | B            | 利用者アンケートで利用者のニーズを調査し、調査結果に基づき運営している。なお、今後もコロナ禍の影響を越えた対応を行いながら、地域の特産品など地域を巻き込んだ運営を検討してもらいたい。                       |      |
|                      | ⑥利用者への公平性について考慮されているか。                               | A            | 幅広い年齢層を考慮して施設運営を行っている。なお、公共施設に求められるバリアフリー・ジェンダーフリーへの取組み強化と、職員への手厚い研修を実施してもらいたい。                                   |      |
| 3. 施設及び設備の維持管理計画について |  |              |   |      |
|                      | ①維持管理体制は施設を維持するうえで適切か。                               | A            | 十分な感染防止対策、職員へのマルチタスク制度の導入、各部署に備品等管理担当を選任するなどの対策がみられる。   |      |
|                      | ②施設の保管管理に関する点検方法や予防保全策は適切か。                          | A            | 初期に発生したトラブルを教訓としながら、点検・検査計画を上回る頻度で予防保全に努めている。   |      |
|                      | ③施設の清掃内容や清掃頻度は適切か。                                   | A            | 視察時もしきいりに保たれており、利用者アンケートの評価も高く適切である。  |      |
|                      | ④駐車場の管理は適切か。   | A            | 施設の開設以来、施設過失の事故はなく植栽も美しく管理されている。今後は、サイクリスト(サイクリング後入浴)への駐車場利用拡大を検討してもらいたい。   |      |
|                      | ⑤施設の保安警備は適切か。  | A            | 防犯・警備管理体制表及び緊急対応マニュアルに基づき適切に管理され、訓練も実施されている。また、防犯カメラを11台設置し、不測の事態には警備会社・関係機関との連携ができる準備がある。                        |      |
| 4. 収支状況              |  |              |   |      |
|                      | ①管理に関わる収支の整合性が取れているか。                                | A            | コロナ禍による休館及び入場者数の制限、感染防止対策経費の増加が収支に影響している。今後は、コロナ禍を踏まえた計画も必要となる。   |      |
|                      | ②経費削減に努めているか。  | A            | 外注委託の削減、職員のマルチタスク化などの努力が見られる。但し、過度の削減による安全性の欠如に注意してもらいたい。   |      |
| 5. その他               |  |              |   |      |
|                      | ①利用者アンケートや自主モニタリングなど、利用者からの意見に対処する体制をとっているか。         | A            | お客様の声の収集・情報共有が適切に実施されている。今後は、定期利用者アンケートの実施時期を10月以外とすることも検討してもらいたい。  |      |
|                      | ②事故を未然に防ぐ安全対策や事故が発生した場合の対応や体制は迅速かつ適切か。               | A            | 定期的な訓練と緊急連絡(バックアップ)体制の確認、巡回が実施できている。なお、感染症対策も継続して実施すること。  |      |
|                      | ③利用促進のための広報活動は効果的に行われているか。                           | A            | HP、SNSの周知効果は見られる。今後は、施設をゴールとした近隣駅からのハイキングマップなどの掲載や、自治会・学校など地域への情報発信を強化してもらいたい。                                    |      |
|                      | ④従業員の資質向上にむけた研修を実施しているか。                             | A            | 全職員向け・部署別の研修が的確に実施されている。  |      |
|                      | ⑤個人情報の管理方法は優れているか。船橋市個人情報保護条例に従ったものになっているか。          | A            | 情報管理責任者のもと、情報管理体制が整備されている。  |      |